



京都学園大学同窓会滋賀県支部タイムス

滋賀県支部

発行責任者：馬場 善和

①1月25日(日)滋賀県支部新年会!!



滋賀県支部は3年ぶりの新年会を実施します。平成17年度の新学会は草津駅西口の「魚民」でオブザーバーに草津市在住の船越弘名誉教授を含め6名の参加、18年度は卒業生の3期生(S50年卒)山本恵輔さんがオーナーの加料理で有名な「山よし」滋賀南草津店で8名参加。3年ぶりの

新年会は滋賀県支部役員8名中、4名が草津市在住ですのでJR草津駅西口徒歩約3分のところにある、「和ぐるめ」で1月25日(日)12時から会費千円で実施いたします。参加者募集中です。大学職員で同窓会事務局の田中さん、同窓会副会長の中野さんにも参加依頼しています。第6回滋賀県支部総会の企画と動員増について美味しいランチを食べながら親睦を図り、何か過去に実施していないような提案ができることを期待しています。

大学を知って頂く為、例えば、5つの学部にはどのような学科があって、各地方支部の活動内容、及び総会の参加人数を報告、同窓会入試制度の説明など大学最新情報を提供する予定です。昨年より滋賀県支部は滋賀県を9分割して各ブロック責任者を決めて下部組織の充実を図っていますが、現実には厳しいです。

②地方支部5番目の北陸支部設立総会



11月3日JR金沢駅前のANNクラウンプラザホテルで北陸支部(福井、石川、富山県)が設立総会を開催された。会員数約850名の第5番目の支部組織が誕生。参加者は26名で支部長に2期生石川県加賀市在住の山野下義紀さんが就任されました。山野下さんは毎年、龍尾祭に大学時代の下宿先に訪れ、一泊させてもらっておられる、根っからの母校愛がある支部長である。私も総会に参加させて頂きました。その時、司会をされていた支部幹事の土村望さんは流暢で高印象を受けました。北陸支部は隣接していますのでお互い仲良く協力して支部を盛り上げましょう。

あけまして
2009



おめでとー(ぶ)ざーいませす。

③あっ～懐かしい先生!!

先日、何気なく書棚に置いていた卒業証書を見たとき、卒業証書の下に、S53. 4～S57. 3間の開講された教員名と担当主科目目表が出てきました。当時、田杉競学長の経営学科必修科目であった経営学総論は単位を修得するのは難しかった。簿記原理の伊原徳三郎先生の講義は出席代理返事が多く、学生20人程しか受講していないのに約60人程の代理出席返事があった。地方財政論の岡本登太郎先生は学園大タイムスを発行する度に、第2号や、第3号やと声をかけて下さる先生でした。一番有名な教授は、日本文化史、茶道の前裏千家家元の千宗室先生です。



「リトル巨泉」のニックネームがあった財政学総論の西村正幸先生。短大の学長もされた、物理学、自然科学史の矢尾秀馬先生の講義は受講生の目の輝きはすごかった。いつも黒板ギッシリ書かれ講義終了のチャイムが鳴っても、教育に貪欲であった、今年100歳をお迎えになられる歴史学の米田貞一郎先生。就職のめんどうみが良く、長期間、空手部の顧問をされハキハキした口調で講義が判りやすかった、企業論、経営分析の田畑要先生。マドンナ先生でありながら、受講態度が悪い生徒には厳しいかった、英語の安井比沙子先生。サッカー部の顧問で体育実習の山下哲先生は学生の人望は厚かった。名古屋から新幹線通勤されていた産業社会学の富田嘉郎先生。前期、後期テストでどんな問題が出題されても四大文明のことを書いておけば単位がとれた、一般経済史、日本経済史の児玉洋一先生。省エネ講義?ドイツ語のI先生は毎回、授業は30分以内で終了。当然、十人十色であって個性の強い先生ほど、印象に残っています。

私は大学を卒業して26年経過しますが青春時代を過ごした京都学園大学はいい思い出である。かなりの先生方は亡くなられておられますのでこの場をお借りしてご冥福をお祈りいたします。同期、先輩、後輩のかけがえのない友人も大切ですがいつまでもお話できる大学時代の恩師がおられる方は幸運な人です。



同窓会滋賀県支部

【編集後記】

12月6日(土)京都新聞朝刊一面記事の「京の学生悲鳴」金融危機内定取り消し騒動に京都学園大学キャリアサポートセンターの藤塚晃生さんが「内定取り消しを電話一本で済まされる企業もある」とコメントされていた。世界的な金融危機の影響で国内企業の業績が悪化する中、就職内定を取り消される学生が出て就職が大変厳しくなりそう。今こそ同窓会の必要性がでてくる。単なる寄附事業と違って就職先を援助する事が出来たら当然、大学への志願者も増加が期待できる。卒業生が70%を超える近畿圏には地方支部第1号の滋賀県支部しかないのです。卒業生がたくさん活躍されている、大阪府、京都府、兵庫県の支部創設が後押ししている現状はおかしな現象であるが「遠方支部から創設をする」同窓会本部方針の見直しが必要になってくるだろう。(私も同窓会本部役員ですが...) 滋賀県支部タイムスがこれからも卒業生の「つながり」に貢献できることを望みます。

